

2025年6月18日(水) 9:30~10:50

都道府県がん診療連携拠点病院がん登録部会ならびに 都道府県がん登録担当者連絡会



国立がん研究センター
がん対策研究所
National Cancer Center
Institute for Cancer Control

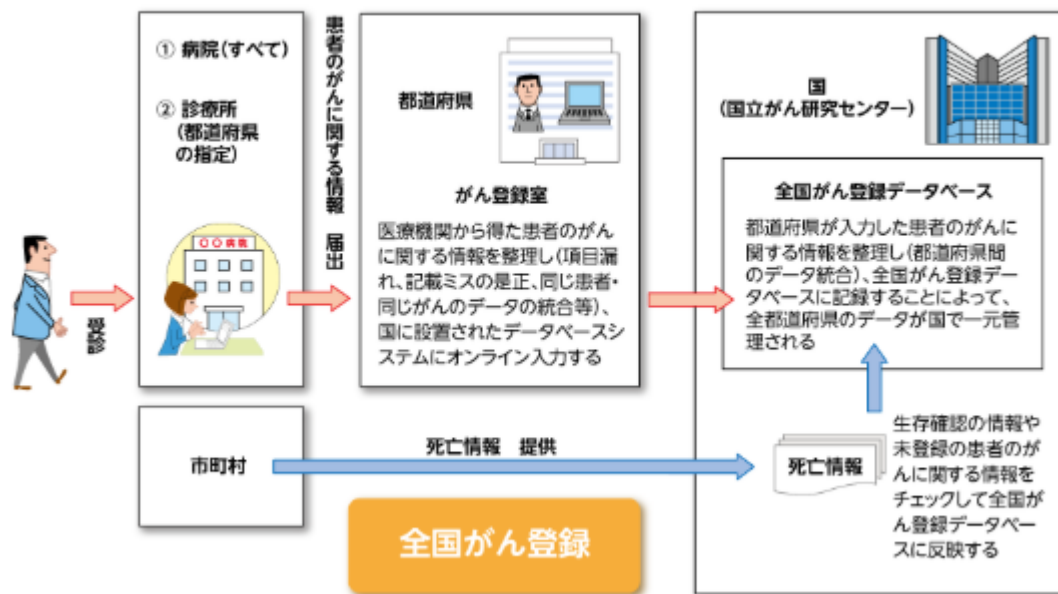
- ・2016年診断症例以降の予後付き収集予定と20条提供体制整備
- ・全国がん登録「安全管理措置」「情報の提供」マニュアル改訂
および「情報の利用」マニュアル策定
- ・院内がん登録標準登録様式および全国がん登録届出マニュアル改訂
- ・ICD-O-3.2版適用の共通化
- ・研修・認定試験スケジュール
- ・質疑応答

がん登録の進め方

- 院内がん登録と全国がん登録のシームレスな情報共有のため、部会と連絡会を同日開催に
- 情報伝達のみでなく、好事例報告等、各施設の取り組みを共有する場に
- がん登録の専門知識を有する方に意見を聴取するため、がん登録標準化専門委員会を設置
- 全国がん登録の遅延を取り戻し、早期化を図るため、2025年度は2022-2023年2年分の住所異動調査と遡り調査を実施

全国がん登録で把握される予後情報

図1 「全国がん登録」の仕組み



- 2016年以降の死亡情報(がん死・非がん死とも)を国立がん研究センターで全国がん登録データベースに記録

- 死亡情報ではじめてがんと把握された場合は、**遡り調査**を都道府県を通し依頼
 - 遡り調査で正しい施設に依頼するよう、確認・検証を強化
- 死亡診断書に「病院等の名称」の記載がなかった場合は対象から除外

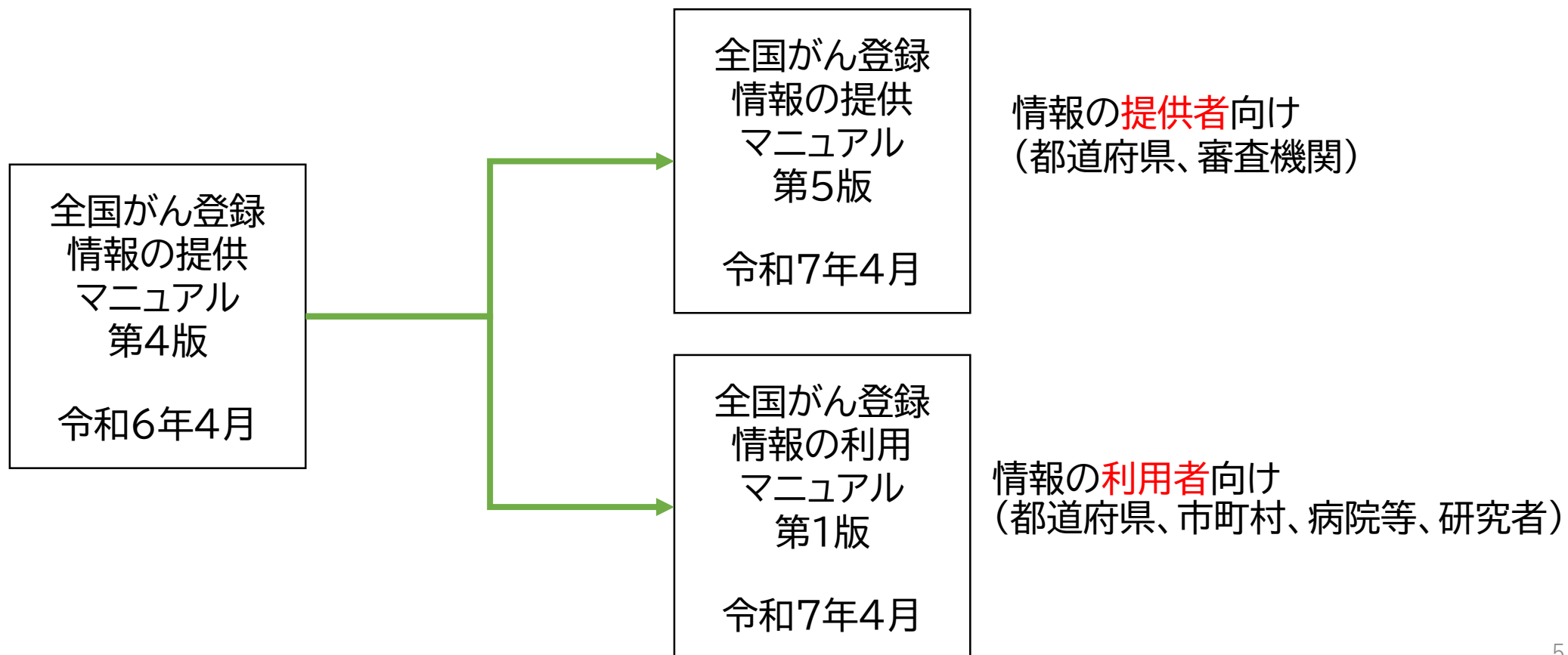
- 病院等は20条申請で自施設が届け出た患者の予後情報を都道府県から入手可能

2016年診断症例以降の予後付き収集予定 と20条提供体制整備

- 全国がん登録2021年罹患数・率が報告され、2016年5年予後が提供可能
- がん登録推進法20条により、各施設は各都道府県に利用申請を行い、各都道府県は施設に病院等から届けられたデータに予後情報を付けて提供
- 2026年度、国立がん研究センターから院内がん登録2016年予後付き集計を提出依頼
- 各都道府県及び各施設は予後情報付きデータの提出準備をお願いします

全国がん登録「情報の提供」マニュアル改訂および 「情報の利用」マニュアル策定

「情報の提供マニュアル第4版」は、情報の提供者と利用者が参照する内容が混在していたが、両者を分けて整備した。



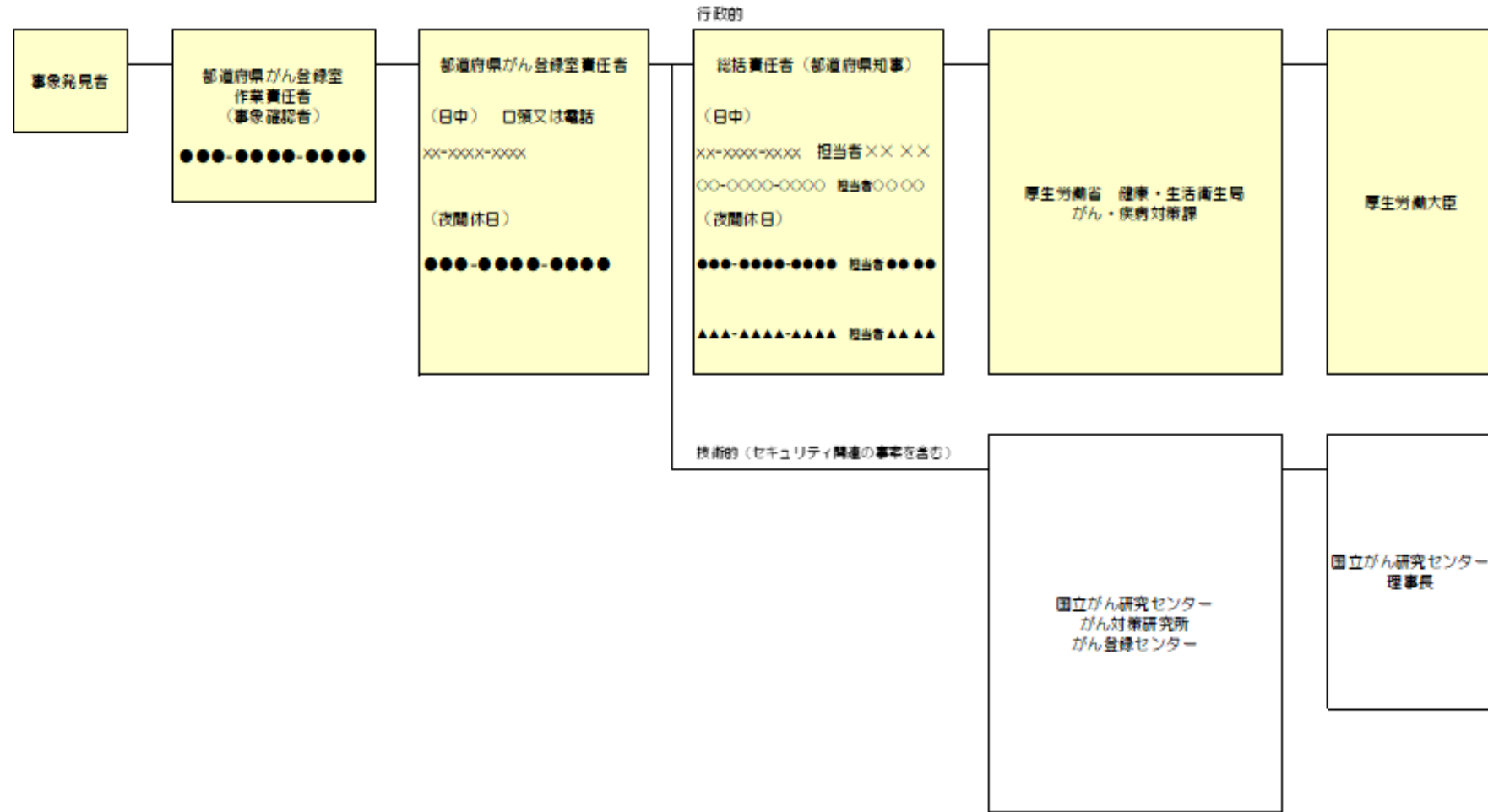
法第20条に基づき提供を受けた情報の取り扱い

第7 4【病院等における利用例】	第16提供を受けた情報の取扱い
院内がん登録システム 内の情報更新 がんに係る調査研究 院内がん情報の公表 院内がん登録全国収集 における国立がん研究 センターへの提供	生存確認情報を利用可能 (生死の別及び最終生存確認日又は生死の別、死亡日及び原死因)
多施設共同研究等によ る自施設以外の者（第 三者）へ情報提供	生存確認情報に一定の加工を施すことで可能 ・病院等は、診断日等と最終生存確認日（死亡日）の差から得られる期間（日数）に加工する。 (例：最終生存確認日（死亡日）－診断日→152 日) ・病院等は、病院等から提供を受ける者において当該期間から最終生存確認日（死亡日）を復元できないよう、診断日等を併せて提供しない。 ・病院等から提供を受ける者は、診断日等を保有している場合、当該期間から最終生存確認日を復元できないよう、当該診断日等の「日」の情報を削除する（例：2024年3月11日→2024年3月）。 ・病院等から提供を受ける者は、診断日等を新たに入手してはならない。 ・病院等は、原死因を「がんによる死亡」又は「がん以外の死亡」に置換する。 (例：原死因が胃がん→「がんによる死亡」、原死因が心不全→「がん以外の死亡」)
カルテへの転記	生存確認情報そのものの転記は現段階では認められない。 一定の加工を施した情報の転記は可能

全国がん登録「安全管理措置」 マニュアル改訂

全国がん登録緊急連絡網
〇〇県がん登録室
(令和〇〇年〇月〇日現在)

登録室職員は、手順に示された担当範囲と手続きに従い、個人情報適切に取り扱うこと。万一、手順に違反している事実又は兆候に気付いた場合は、速やかに、下記の連絡網に従い、作業責任者を通じて登録室責任者に報告すること。



連絡方向

※連絡が付かない場合には、速やかに連絡網の次の上位担当者で連絡を取ること

院内がん登録標準登録様式および 全国がん登録届出マニュアル改訂

- 院内がん登録標準登録様式と全国がん登録届出マニュアルで異なっていたもの(内容、表現)の整合性を図る
- 2025年診断症例より

主な更新箇所【治療施設】

選択肢	内容	対処
3 初回治療継続	造血器腫瘍以外の“経過観察”の継続は含まない※ ※造血器腫瘍において、初回の診断後、当面完解導入目的とせず、経過観察が選択された場合、転院をした時点で、転院先の施設は「4：初回治療終了後」とする。	全国がん届出マニュアルを院内がん登録標準登録様式に一致させた
8 その他	死体解剖で初めて診断された場合	院内がん登録標準登録様式を全国がん届出マニュアルに一致させた

ICD-O-3.2版適用の共通化

2025年診断症例からの病院等でのがん登録におけるルールF及び日本独自コードを廃止

ステージや進展度は早期発見を評価するための重要な情報なので、**性状を優先**して、**ICD-O3.2コード表に存在するコード**で登録する。

【例】
「上皮内の管状腺癌」

管状腺癌は8211だが
ICD-O-3.2コード表
には
8211/3しかない

ルールFを適用した場合

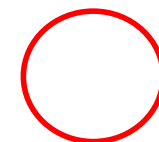
(院内がん登録における
2019～2024年診断)

形態コード 8211/2

↑
(登録の整合性)
T分類 Tis
進展度 上皮内



ルールFを適用しない場合



性状
を優先



前4桁
優先で
はない

形態コード 8140/2
↑
(登録の整合性)
T分類 Tis
進展度 上皮内

形態コード 8211/3
↑
(登録の整合性)
T分類 T1以上
進展度 限局以上

※2024年症例は院内がん登録実施施設からはルールFで届出されるため、都道府県がん登録室で変換をお願いします

ICD-O-3.2版適用の共通化

特別届出対象の廃止について

- ICD-O-3.2版の採用時期が院内がん登録と全国がん登録で異なっていた。
- ICD-O-3.2の改訂により性状コードが/3から/1に変更になった形態用語があったが、全国がん登録に届け出るため、特別に届出対象としていた。
- 全国がん登録でもICD-O-3.2版を採用することになり、両者が一致したため、特別に届け出ていただく必要がなくなった。

(表1) ICD-O-3.2から性状コード/3 が/1 に変更された形態用語

ICD-O3.1	ICD-O3.2	形態用語
8312/3	8323/1	Clear cell papillary renal cell carcinoma
8335/3	8335/1	Follicular carcinoma, encapsulated, NOS
8452/3	8452/1	Solid pseudopapillary tumor of ovary
8832/3	8832/1	Dermatofibrosarcoma protuberans, NOS
8832/3	8832/1	Dermatofibrosarcoma, NOS
8833/3	8833/1	Pigmented dermatofibrosarcoma protuberans
8833/3	8833/1	Bednar tumor
9080/3	9080/1	Immature teratoma of lung
9080/3	9080/1	Immature teratoma of thymus
9080/3	9080/1	Immature teratoma of thyroid
9220/3	9222/1	Chondrosarcoma, grade 1
9709/3	9709/1	Primary cutaneous CD4 positive small/medium T-cell lymphoma
9718/3	9718/1	Primary cutaneous CD30 positive T-cell lymphoproliferative disorder
9718/3	9718/1	Lymphomatoid papulosis
9725/3	9725/1	Hydroa vacciniforme-like lymphoma
9751/3	9751/1	Langerhans cell histiocytosis, NOS
9751/3	9751/1	Langerhans cell histiocytosis, monostotic
9751/3	9751/1	Langerhans cell histiocytosis, polystotic
9971/3	9971/1	Polymorphic post-transplant lymphoproliferative disorder

登録対象外

【注意事項】

- ・ただし表中の形態用語であっても、“悪性”と診断されている場合は性状コード 3 として登録してください。
（例）Clear cell papillary renal cell carcinomaと診断されれば、登録対象外であるが、転移があり悪性腫瘍として治療等が行われていれば/3として登録対象
- ・表中に記載の形態コードに該当する形態であっても、表中の形態用語以外は ICD-O-3.2 に従い、通常通り、登録対象かどうかを判断してください。
（例）卵巣の奇形種は9080/3で登録対象

(表2) ICD-O-3.2から削除となったが中枢神経系腫瘍において登録対象としていた形態用語

ICD-O3.1	ICD-O3.2	形態用語
9530/1	削除	Meningiomatosis, NOS
9530/1	削除	Diffuse meningiomatosis
9530/1	削除	Multiple meningiomas
9540/1	削除	Neurofibromatosis, NOS
9540/1	削除	Multiple neurofibromatosis

登録対象

【注意事項】

中枢神経原発腫瘍と診断された場合は登録対象とし、性状 0 で登録を行ってください。

ICD-O-3.2コード表の注釈変更

● 8077/2 扁平上皮内腫瘍、グレード2およびHSIL

ICD-O3.1の8077/2はグレード3だったが、ICD-O-3.2からグレード2やHSILも形態用語に追加された。届出対象が変わり、がん対策ではグレード3の把握が重要であるため、登録対象外であることを明確にする

コード	形態用語	和訳形態用語	局在	[ob]	備考1	備考2	NCC注釈
8077/2	Squamous intraepithelial neoplasia, high grade	扁平上皮内腫瘍, 高異型度					
★	Squamous intraepithelial neoplasia, grade II	扁平上皮内腫瘍, グレード2			from8077/0		▼NCC注1: がん登録では、扁平上皮内腫瘍, グレード2については、登録対象外とする。
★		扁平上皮内腫瘍, II度			from8077/0		▼NCC注1: がん登録では、扁平上皮内腫瘍, II度については、登録対象外とする。
★	Squamous intraepithelial neoplasia, grade III	扁平上皮内腫瘍, グレード3					
★		扁平上皮内腫瘍, III度					
★	Squamous dysplasia, high grade	扁平上皮異形成, 高異型度					▼NCC注1: がん登録では、扁平上皮異形成, 高異型度 (HSIL) については、登録対象外とする。
★	High grade squamous intraepithelial lesion	高異型度扁平上皮内病変					▼NCC注1: がん登録では、高異型度扁平上皮内病変 (HSIL) については、登録対象外とする。

注記を追記

● 8480/1 低異形度虫垂粘液腫瘍(LAMN)

ルールFを用いて8480/2で登録していたが、ルールFは使用しないため、注記を削除
漿膜下層以深の浸潤や遠隔転移が認められる場合は8480/3で登録、
それ以外の場合は上位概念のコードの8140/2で登録

コード	形態用語	和訳形態用語	局在	[ob]	備考1	備考2	NCC注釈
8480/1	Low grade appendiceal mucinous neoplasm ▼ 1	低異型度虫垂粘液腫瘍 ▼ 1	(C18.1)				▼NCC注1: 既内がん登録においては2022年症例から登録対象とし、8480/2 (ルールF適用) を付与する
8480/3	Mucinous adenocarcinoma	粘液腺癌			(except of lung M-8253/3)	肺のM-8253/3を除く	

注記を削除

2025年度 がん登録病院等実務者 研修

【種類と形式】 2025年度から研修名称変更

- ①がん登録 病院等実務者 初級認定者研修
 - ②がん登録 病院等実務者 中級(院内がん登録)研修
 - ③がん登録 病院等実務者 中級(院内がん登録)認定者研修
 - ④がん登録 病院等実務者 中級(院内がん登録) 小児がん研修
- ➡ ①②③④e-learning研修(昨年同様)

【申込期間と開催日時】

- ①申込:7月17日(木)～8月1日(金) 開催:9月1日(月)～9月30日(火)
- ②第1回 申込:~~【通常枠】4月2日(水)～4月11日(金)~~終了 【聴講枠】4月14日(月)～4月21日(月)終了
開催:6月9日(月)～7月15日(火) 定員(通常枠100, 聴講枠20)
- 第2回 申込:~~【通常枠】5月27日(火)～6月6日(金)~~終了 【聴講枠】6月9日(月)～6月16日(月)終了
開催:8月12日(火)～9月17日(水) 定員(通常枠100, 聴講枠20)
- ③申込:7月17日(木)～8月1日(金) 開催:9月1日(月)～9月30日(火)
- ④申込:8月18日(月)～8月29日(金) 開催:9月16日(火)～12月21日(日)

2025年度 がん登録病院等実務者 認定試験／認定者更新試験

【種類と形式】 2025年度から試験名称変更

- ①がん登録 病院等実務者 初級認定試験
 - ②がん登録 病院等実務者 初級認定更新試験
 - ③がん登録 病院等実務者 中級(院内がん登録)認定試験
 - ④がん登録 病院等実務者 中級(院内がん登録)認定更新試験
 - ⑤がん登録 病院等実務者 中級(院内がん登録) 小児がん認定試験
- ➡ すべてCBT試験(昨年同様)

【申込期間と実施時期】

- ①申込:8月18日(月)～ 9月5日(金) 実施:10月1日(水)～10月31日(金)
 - ②申込:9月16日(火)～ 10月3日(金) 実施:11月4日(火)～11月30日(日)
 - ③第1回 申込:4月2日(水)～4月11日(金)終了 実施:8月1日(金)～8月31日(日)
第2回 申込:5月27日(火)～6月6日(金)終了 実施:10月1日(水)～10月31日(金)
 - ④申込:9月16日(火)～ 10月3日(金) 実施:11月4日(火)～11月30日(日)
 - ⑤申込:12月2日(火)～ 12月15日(月) 実施:2026年1月9日(金)～1月31日(土)
- ➡ ②～④については、不合格者及び、試験申込済み受験予定者が感染症等を理由にやむを得ず未受験となった場合に、受験者からの申し出に応じて再試験への受験を案内する予定

2025年度がん登録データ分析研修

【種類と形式】

がん登録データ分析研修 ➡ e-learning + オンライン研修

【対象】

データ分析に必要な品質管理や集計・分析手法を学び、施設や都道府県等で蓄積したデータを有効活用する

【対象】

- ①基礎:がん登録データ分析を初めて行う方、データ分析を始めたばかりの方
- ②応用:実際にがん登録情報の分析経験がある方を対象として、施設ごとのがん診療の特徴把握と今後必要な課題、都道府県のがん罹患の特徴把握と課題などを考察

【申込期間と開催日時】

①(基礎)申込:2025年7月22日(火)～8月5日(火)

実施:第1回目 2025年11月4日(火)、第2回目 2025年11月7日(金)

②(応用)申込:2025年9月25日(木)～10月9日(木)

実施:第3回目 2026年1月9日(金)、第4回目 2025年1月14日(水)

【募集人数と受講/聴講料】

受講生:①②ともに10名程度 聴講生※:各回10名程度 ※自施設で別途受講生がいる場合のみ

院内がん登録だけでなく、
都道府県がん登録データ
の分析にも力を入れてい
きます